

公売（官公庁オークション）の出品物をデジタル技術で分かりやすく伝える仕組みを構築し、より参加したくなる公売を実現したい！

課題



- 公売参加者の増加につながるよう、デジタル技術で分かりやすく出品物の情報を提供し、より参加したくなる公売を実現したい。
- 出品物の状態を分かりやすく伝えることが重要だが、既存のサイト（公売ホームページ・官公庁オークションサイト）では「写真＋文字」のみの情報提供しかできていないため、より充実した情報を届けたい。
- 現物確認の機会（下見会）は設けているものの、原則、平日の日中・都内で実施しているため、出品物を確認できる機会が限定されている。

背景

- 公売は、東京都が差押えした財産（動産・不動産等）を売却する公的な手続。
- 出品物について、官公庁オークションサイトで掲載できる情報は「写真＋文字」のみ。東京都の公売ホームページでは、制度案内、日程等を掲示している。
- 会場の時間やセキュリティ等、様々な制約があるため、出品物の事前確認は平日の日中・都内での実施に留まる。

現場からのコメント



- 写真、動画、360度画像、VR、オンライン内見など、出品物に応じて、実物の事前確認と同じようなリアリティのある情報を伝えるデジタルコンテンツ（デジタル下見会（仮称））の提案・作成をしていただきたい。
- 既存のサイトとの連携も視野に入れている。
- アクセス数や利用者の属性等、効果測定ができる仕組みも導入してほしい。

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください